

246E7
276E7



www.philips.com/welcome

JA	ユーザーマニュアル	1
	カスタマサポートと保証	18
	トラブルシューティング & FAQ	21

PHILIPS

目次

1. 重要	1
1.1 安全のための注意事項とメンテナンス	1
1.2 表記の説明	3
1.3 製品と梱包材料の廃棄	4
2. モニタをセットアップする	5
2.1 取り付け	5
2.2 モニタを操作する	7
2.3 ベーススタンドおよびベースを取り外します	9
2.4 MHL (モバイルハイディフィニションリンク) の概要	10
3. 画像の最適化	11
3.1 SmartImage Lite	11
3.2 SmartContrast	12
4. 技術仕様	13
4.1 解像度とプリセットモード	16
5. 電源管理	17
6. カスタマサポートと保証	18
6.1 Philipsのフラットパネルモニタ画素欠陥ポリシー	18
6.2 カスタマサポートと保証	20
7. トラブルシューティング& FAQ	21
7.1 トラブルシューティング	21
7.2 一般FAQ	23
7.3 MHL FAQ	25

1. 重要

この電子ユーザーズガイドは、Philips モニタを使用するユーザーを対象にしています。モニタを使用する前に、本ユーザーズマニュアルをよくお読みください。モニタの操作に関する重要な情報と注意が記載されています。

Philips 保証は、その操作指示に従い製品を使用目的に沿って適切に取り扱い、購入日、販売店名および製品のモデルと製造番号が記載されたオリジナルインボイスまたは現金領収書を提示した場合に適用されます。

1.1 安全のための注意事項とメンテナンス

⚠ 警告

本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電氣的障害、機械的災害につながる可能性があります。

コンピュータのモニタを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

取り扱い

- ・ モニターを直射日光やきわめて明るい光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。これらの環境に長時間さらされると、モニタが変色したり損傷する結果を招きます。
- ・ 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、モニタの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- ・ キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ・ モニタの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- ・ 電源ケーブルやDC電源コードを取り外すことでモニタの電源をオフにする場合、6秒待ってから電源ケーブルやDC電

源コードを取り付けて通常操作を行ってください。

- ・ 必ず、本製品に同梱されている電源コードを使用してください。電源コードが入っていない場合、カスタマサポートにお問い合わせください。（重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照してください。）
- ・ 指定された電源で動作させてください。必ず指定の電源でモニターを操作してください。誤った電圧で使用すると故障の原因となり、火災や感電の原因となります。
- ・ AC アダプタを分解しないでください。AC アダプタを分解すると、火災や感電の危険がある可能性があります。
- ・ ケーブルを保護してください。電源ケーブルや信号ケーブルを引っ張ったり曲げたりしないでください。モニターやその他の重いものをケーブルの上に置かないでください。ケーブルが損傷した場合、火災や感電の原因となることがあります。
- ・ 操作中、モニタに強い振動を与えたり、衝撃を加えないでください。
- ・ 操作または輸送中、またLCDを強く打ったり落したりしないでください。
- ・ モニターの過度の使用は目の不快感を引き起こす可能性があります。ワークステーションにおいて、あまり頻繁ではない長い休憩よりも短い休憩をとることをお勧めします。例えば、50～60分の連続画面使用後の5～10分の休憩は、2時間ごとの15分間の休憩よりも効果が高い可能性があります。一定時間画面を使用している間、以下を行い、目の疲れから目を解放するようにしてください：
 - ・ 長時間画面を注視した後は、さまざまな距離を見てみましょう。
 - ・ 作業中に意識的に瞬きをしてみましょう。
 - ・ ゆっくりと目を閉じ、目をキョロキョロさせて、目をリラックスさせてみましょう。

1. 重要

- ・ 画面をあなたの座高にあわせて、適切な高さで角度にしてみてください。
- ・ 明るさとコントラストを適切なレベルに調整してみてください。
- ・ 環境照明を画面の明るさに似た明るさに調整し、蛍光灯やあまり光を反射しない表面を避けましょう。
- ・ 症状がある場合は、かかりつけの医師に相談してみてください。

メンテナンス

- ・ モニタを損傷の可能性から保護するために、LCDパネルに過剰な圧力をかけないでください。モニタを動かすときは、フレームをつかんで持ち上げてください。またLCDパネルに手や指を置いてモニタを持ち上げないでください。
- ・ 長時間使用しない場合は、電源のプラグを抜いてください。
- ・ 汚れのふき取りには、柔らかい布をご使用ください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してモニタを洗浄することは絶対におやめください。
- ・ 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、モニタを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- ・ モニタが濡れた場合は、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- ・ モニタに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。異物や水を取り除き、カスタマサポートにご連絡ください。
- ・ 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でモニタを保管したり、使用したりしないでください。
- ・ モニタの最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る環境でモニタを使用してください。
 - ・ 温度：0～40°C 32～104°F
 - ・ 湿度：20～80% RH

焼き付き / ゴースト像に関する重要な情報

- ・ モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。静止コンテンツを表示している場合、定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「後イメージ」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。
- ・ 「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

⚠ 警告

スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

修理

- ・ ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- ・ マニュアルが必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。（重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照してください。）
- ・ 輸送情報については、「技術仕様」を参照してください。
- ・ 直射日光下の車内/トランクにモニタを放置しないでください。

📖 注

モニタが正常に作動しない場合、または本書に記載された手順が分からない場合、カスタマケアセンターにお問い合わせください。

1.2 表記の説明

次のサブセクションでは、本書で使用する表記法について説明します。

注、注意、警告

本書を通して、テキストのブロック k にはアイコンが付き、太字またはイタリック体で印刷されています。これらのブロックには注、注意、警告が含まれます。次のように使用されます。



注

このアイコンは重要な情報とヒントを示し、コンピュータシステムをもっと有効に活用する助けとなるものです。



注意

このアイコンは、ハードウェアの損傷の可能性またはデータの損失を避ける方法に関する情報を示します。



警告

このアイコンは負傷する可能性を示し、その問題を避ける方法を示します。

警告には代わりの形式で表示され、アイコンが付かない場合もあります。このような場合、警告を具体的に提示することが関連する規制当局から義務づけられています。



注

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。

1.3 製品と梱包材料の廃棄

廃電気電子機器 -WEEE



This marking on the product or on its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed of with normal household waste. You are responsible for disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste electrical and electronic, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household or the store at which you purchased the product.

Your new monitor contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old monitor and packing from your sales representative.

Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the important of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) in accordance with all Environmental Laws and taking back program with the contractor company.

Your display is manufactured with high quality materials and components which can be recycled and reused.

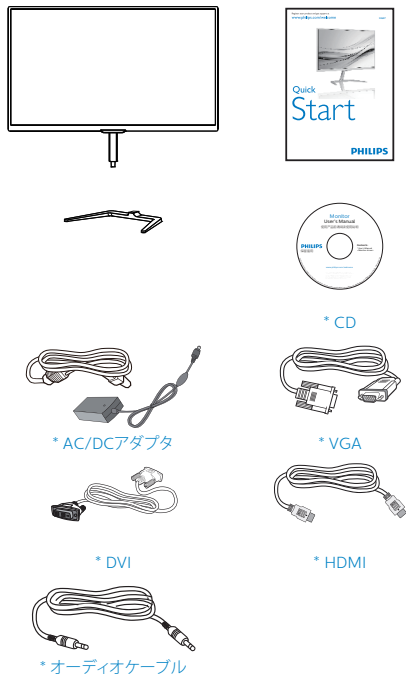
To learn more about our recycling program please visit

<http://www.philips.com/a-w/about/sustainability.html>

2. モニタをセットアップする

2.1 取り付け

1 パッケージに含まれるもの



* プログラムによって異なります。

注

販売する国・地域により付属されるケーブルが異なる場合がございます。ケーブル付属は別紙のケーブル付属リストをご参照ください。

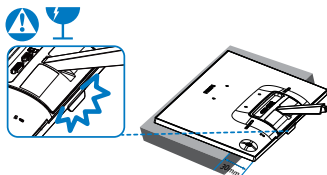
注

246E7Q/246E7QD/246E7QDA/276E7Q/276E7QDA: AC/DCアダプタモデルのみを使用: Philips ADPC1936.

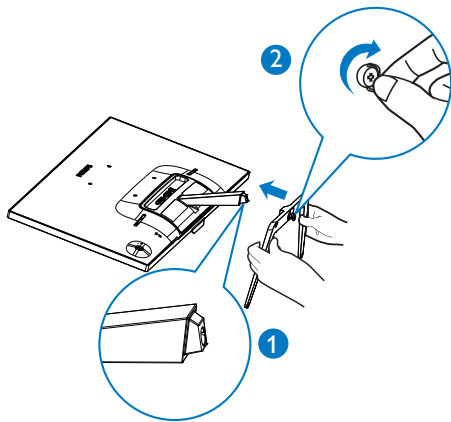
276E7QD: AC/DCアダプタモデルのみを使用: Philips ADPC1945.

2 ベーススタンドの取り付け

- 画面にひっかき傷が付いたり損傷したりしないように平らな場所に柔らかい布などを敷いて画面を下にして置きます。



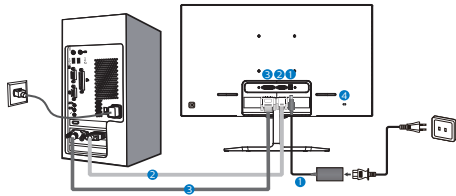
- 両手でベーススタンドを持ちベーススタンドをベースカラムにしっかり差し込みます。
 - 掛け金がベースにロックされるまで、ベースをベースカラムにそと取り付けます。
 - 指を使ってベース下部にあるねじを締め付け、ベースをカラムにしっかり固定します。



2. モニタをセットアップする

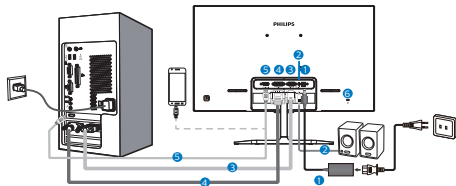
3 PC に接続する

246E7Q/276E7Q:



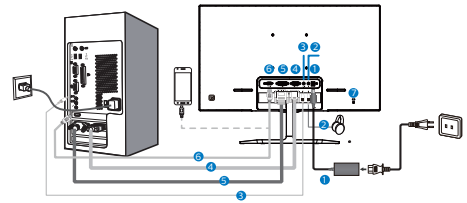
- ① AC/DC電源入力
- ② VGA入力
- ③ DVI入力
- ④ Kensingtonロック

246E7QD/276E7QD:



- ① AC/DC電源入力
- ② HDMIオーディオアウト
- ③ VGA入力
- ④ DVI入力
- ⑤ MHL-HDMI入力
- ⑥ Kensingtonロック

246E7QDA/276E7QDA:



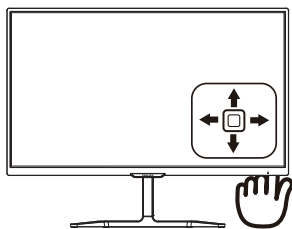
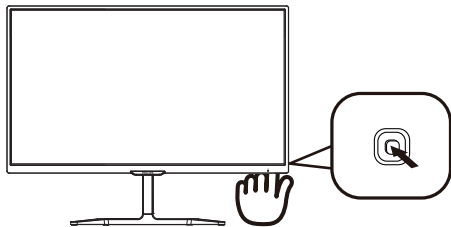
- ① AC/DC電源入力
- ② イヤホンジャック
- ③ オーディオ入力
- ④ VGA入力
- ⑤ DVI入力
- ⑥ MHL-HDMI入力
- ⑦ Kensingtonロック

PC に接続する

1. 電源コードをモニター背面にしっかり接続します。
2. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを抜きます。
3. モニタに信号ケーブルを、コンピュータ背面のビデオコネクタに接続します。
4. コンピュータとモニターの電源コードをコンセントに差し込みます。
5. コンピュータとモニターの電源をオンにします。モニターに画像が表示されたら完了です。

2.2 モニタを操作する

1 製品を正面から見たところ



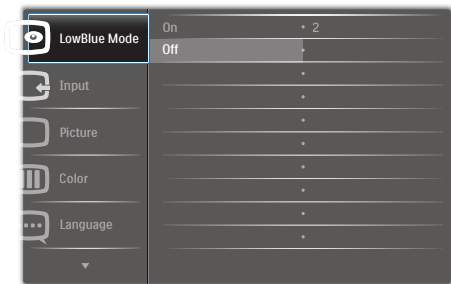
①		3秒間以上長押しして、ディスプレイ電源のオン/オフを切り替えます。
②		OSDメニューにアクセスします。OSD調整を確認します。
③		246E7Q/276E7Q: ディスプレイ形式を変更します。 246E7QD/246E7QDA/ 276E7QD/276E7QDA: スピーカーの音量を調整します。 OSDメニューを調整します。
④		信号入力ソースを変更します。 OSDメニューを調整します。
⑤		SmartImage Lite. 複数の選択があります。Standard (標準)、Internet (インターネット)、Game (ゲーム)、LowBlueモード、オフ。 前のOSDレベルに戻ります。

2 オンスクリーンディスプレイの説明

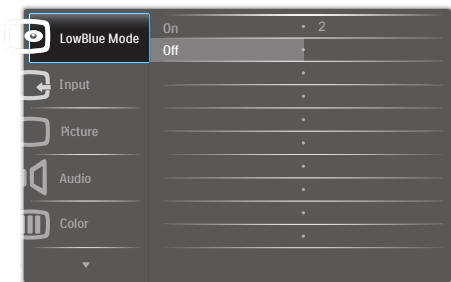
オンスクリーンディスプレイ (OSD) とは？

オンスクリーンディスプレイ (OSD) はすべての Philips LCD モニタに装備されています。これにより、ユーザーはオンスクリーンの指示ウィンドウを通して直接画面パフォーマンスを調整したりモニタの機能を選択したりできます。オンスクリーンディスプレイインターフェースは、以下のように表示されます。

246E7Q/276E7Q:



246E7QD/246E7QDA/
276E7QD/276E7QDA:



コントロールキーの基本および簡単な指示

Philips ディスプレイの OSD メニューにアクセスするには、ディスプレイベゼルの背面にあるシングルトグルボタンを使用するだけです。シングルボタンはジョイスティックのように操作します。カーソルを移動するには、ボタンを四方向に動かすだけです。ボタンを押して、希望のオプションを選択します。

2. モニタをセットアップする

OSD メニュー

以下は、オンスクリーンディスプレイのメニュー一覧です。後でさまざまな調整を行いたいときに、こちらを参照してください。

Main menu	Sub menu	
LowBlue Mode	On — 1,2,3	
	Off	
Input	VGA	
	DVI	
	MHL-HDMI (available for selective models)	
Picture	Picture Format — Wide Screen, 4:3	
	Brightness — 0-100	
	Contrast — 0-100	
	Sharpness — 0-100 (available for selective models)	
	SmartResponse — Off, Fast, Faster, Fastest	
	SmartContrast — On, Off	
	Gamma — 1.8, 2.0, 2.2, 2.4, 2.6	
	Pixel Orbiting — On, Off	
	Over Scan — On, Off (available for selective models)	
Audio (available for selective models)	Volume — 0-100	
	Mute — On, Off	
Audio (available for selective models)	Volume — 0-100	
	Stand-Alone — On, Off	
	Mute — On, Off	
	Audio Source — Audio In, MHL-HDMI	
Color	Color Temperature — 6500K, 9300K	
	sRGB	
	Adobe RGB (available for selective models)	
	User Define	Red: 0-100
		Green: 0-100
		Blue: 0-100
Language	English, Deutsch, Español, Ελληνική, Français, Italiano, Magyar, Nederlands, Português, Português do Brasil, Polski, Русский, Svenska, Suomi, Türkçe, Čeština, Українська, 简体中文, 繁體中文, 日本語, 한국어	
OSD Settings	Horizontal — 0-100	
	Vertical — 0-100	
	Transparency — Off, 1, 2, 3, 4	
	OSD Time Out — 5s, 10s, 20s, 30s, 60s	
Setup	Auto	
	H.Position — 0-100	
	V.Position — 0-100	
	Phase — 0-100	
	Clock — 0-100	
	Resolution Notification — On, Off	
	Reset — Yes, No	
	Information	

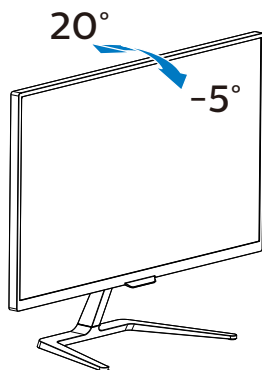
3 解像度通知

このモニタは、そのネイティブ解像度 1920 × 1080@60Hz で最適なパフォーマンスを発揮するように設計されています。モニタが異なる解像度で作動しているとき、画面にアラートが表示されます。Use 1920 × 1080@60Hz for best results (最高の結果を得るには、1920 × 1080@60Hz を使用してください。)

解像度アラートの表示は、OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューのセットアップからオフに切り替えることができます。

4 角度調整

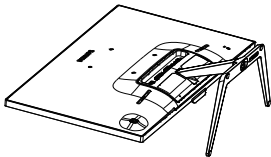
チルト



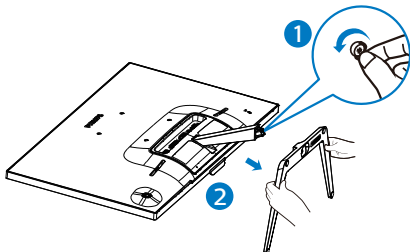
2.3 ベーススタンドおよびベースを取り外します

モニターベースを分解する前に、損傷や怪我を防止するために下記の指示に従ってください。

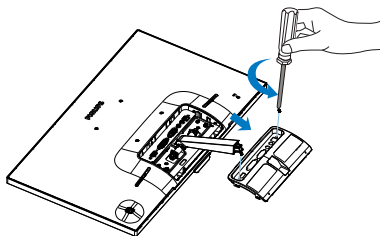
1. 画面に引っかかり傷が付いたり損傷したりしないように平らな場所に柔らかい布などを敷いて画面を下にして置きます。



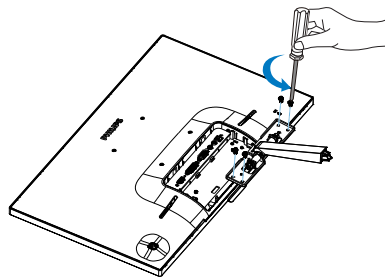
2. 固定クリップを押して、ベーススタンドをベース支柱から取り外します。



3. ドライバーを使用してヒンジカバーのネジを外し、ヒンジカバーを取り外します。

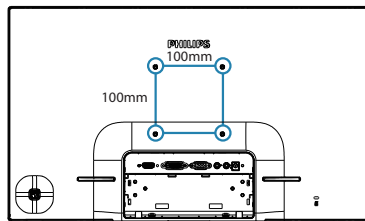


4. リリースボタンを押してベース支柱を外します。



注

このモニターは、100mm x 100mm VESA 準拠のマウントインターフェースが利用できます。



2.4 MHL(モバイルハイディフィニションリンク)の概要 (246E7QD/246E7QDA/ 276E7QD/276E7QDA)

1 MHLとは？

モバイルハイディフィニションリンク(MHL)は携帯電話やその他のポータブルデバイスをハイディフィニションディスプレイに直接接続するためのモバイルオーディオ/ビデオインターフェースです。

オプションのMHLケーブルにより、MHL対応のモバイルデバイスをこの大型Philips MHLディスプレイに簡単に接続し、フルデジタルサウンドと共にHDビデオを見ることができます。この大型画面でモバイルゲーム、写真、動画、その他のアプリを楽しむことができるだけでなく、同時にモバイルデバイスを充電することもできるため途中で充電切れになることはありません。

2 MHL 機能はどのように使用するのですか？

MHL機能を使用するには、MHL認定のモバイルデバイスが必要です。MHL認定デバイスのリストを見つけるには、公式MHL Web サイト(<http://www.mhlconsortium.org>)にアクセスしてください

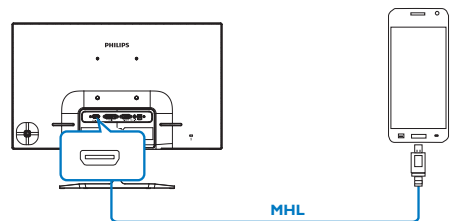
この機能を使用するには、オプションのMHL認定の専用ケーブルも必要です。

3 これは、どのように作動するのですか？ (どのように接続すればいいのですか？)

オプションのMHLケーブルをモバイルデバイス側のマイクロUSBポートに接続し、[MHL-HDMI]とマークされたポートをモニタ側に接続します。これで大型の画面ディスプレイに画像を表示して、モバイルデバイスでインターネットサーフィン、ゲーム、写真閲覧などの、すべての機能を操作できるようになりました。モニタにスピーカー機能が搭載されている場合、サウンドも聴くことができます。MHLケーブルが切断されたり、モバイルデバイスがオフになったりすると、MHL機能は自動的に無効になります。

注

- [MHL-HDMI]とマークされたポートは、MHLケーブルが使用されているときにMHL機能をサポートするポートです。MHLケーブルは、標準のHDMIケーブルとは異なります。
- MHL認定のモバイルデバイスは、別途購入する必要があります
- 他のデバイスがすでに作動中で使用可能な入力に接続されている場合、モニタをアクティブにするにはモニタをMHL-HDMIモードに手動で切り替える必要があります。
- ErPのスタンバイ/オフ省エネは、MHL充電機能には対応していません
- このPhilipsディスプレイはMHL認定を受けています。ただし、MHLデバイスが正しく接続されていない場合、MHLデバイスのFAQを確認するかメーカーに対応策をお問い合わせください。デバイスメーカーのポリシーでは、動作のためにそのブランド専用のMHLケーブルやアダプターを購入するよう求める場合があります。



3. 画像の最適化

3.1 SmartImage Lite

1 SmartImage とは？

SmartImage Lite はさまざまな種類のコンテンツ用のディスプレイを最適化するようにプリセットされており、輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整します。テキストアプリケーションで作業しているか、画像を表示しているか、ビデオを見ているかに関わらず、Philips SmartImage Lite は最適化された最高のモニタパフォーマンスを発揮します。

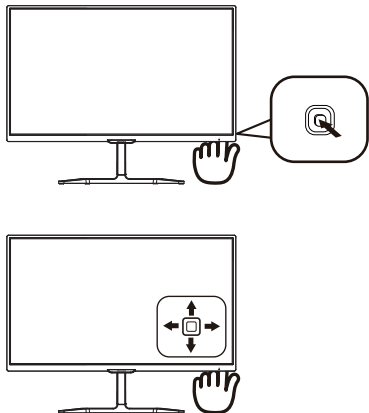
2 必要な理由とは？

あなたはお気に入りのタイプのコンテンツをすべて最適化された状態で表示するモニタを必要としています。SmartImage Lite ソフトウェアは輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整し、あなたのモニタの鑑賞体験を向上します。

3 これは、どのように作動するのですか？

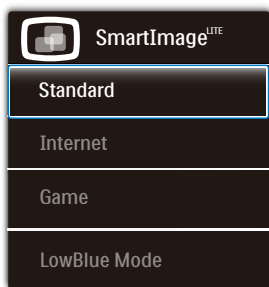
SmartImage Lite は画面に表示されたコンテンツを分析する Philips 独自の最先端技術です。選択したシナリオに基づき、SmartImage Lite は画像のコントラスト、彩度、シャープネスをダイナミックに強化して表示されるコンテンツを強化します。すべては1つのボタンを押すだけでリアルタイムで行われます。

4 SmartImage Lite はどのようにして有効にするのですか？



1. 左に動かし、画面ディスプレイで SmartImage を起動します。
2. 上または下に動かし、次から選択します Standard (標準)、Internet (インターネット)、Game (ゲーム)、LowBlue モード、オフ。
3. 画面ディスプレイの SmartImage が 5 秒間画面に表示されます。または左に動かして確認することもできます。

複数の選択があります。Standard (標準)、Internet (インターネット)、Game (ゲーム)、LowBlue モード、オフ。



- **Standard (標準)：**テキストを強化して輝度を抑えることで読みやすさを向上し、目の疲れを和らげます。スプレッドシート、PDF ファイル、スキャンされた記事、その他の一般的オフィスアプリケーションで作業しているとき、このモード

3. 画像の最適化

は読みやすさと生産性を大幅に向上します。

- **Internet (インターネット):** このプロファイルは彩度、ダイナミックコントラスト、シャープネス強化を組み合わせ、写真やその他の画像を躍動感にあふれる色でくっきりと表示します。アーティファクトが生じたり色がばやけることはありません。
- **Game (ゲーム):** 駆動回路上でオンにすると画面で動く物体の応答時間が速くなり、ぎざぎざの縁が減少して、明るいスキームや暗いスキームのコントラスト比が向上します。このプロファイルはゲーマーに最高のゲーム体験を提供します。
- **LowBlueモード:** LowBlueモードは目に優しく、生産性を上げます。研究によると、紫外線が目に良くないのと同様に、LEDディスプレイの短波ブルーライトは目にダメージを与え、時間の経過と共に視力に影響を与えることです。健康のために開発されたPhilips LowBlueモード設定ではスマートソフトウェア技術を利用し、有害な短波ブルーライトを軽減します。

3.2 SmartContrast

1 SmartContrast とは？

表示されたコンテンツをダイナミックに分析したり、LCD モニタのコントラスト比を自動的に最適化して映像の明瞭さを最大限に高めたり、バックライトを強化することでクリアで、くっきりした、明るい画像を実現したり、バックライトを薄暗くすることで暗い背景で画像をクリアに表示したりする独特な技術です。

2 必要な理由とは？

どのような種類のコンテンツも明瞭に表示され、快適にご覧いただけます。SmartContrast はコントラストをダイナミックに制御しバックライトを調整してクリアで、くっきりした、見やすいゲームとビデオ画像を実現したり、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。モニタの消費電力を抑えることで、エネルギーコストを節約し、モニタの寿命を延ばすことができます。

3 これは、どのように作動するのですか？

SmartContrast をアクティブにすると、表示しているコンテンツをリアルタイムで分析して色を調整し、バックライト強度を制御します。この機能はビデオを表示したりゲームをプレーしているとき、コントラストをダイナミックに強化して素晴らしいエンタテインメント体験を体験できるようにします。

4. 技術仕様

画像 / ディスプレイ	
モニタパネルの種類	IPS 技術
バックライト	W-LED システム
パネルサイズ	23.6" 幅 (59.9cm) (246E7) 27" 幅 (68.6cm) (276E7)
縦横比	16:9
画素ピッチ	0.272 x 0.272 mm (246E7) 0.311 x 0.104 mm (276E7)
SmartContrast	20,000,000:1
最適解像度	1920x1080 @ 60Hz
表示角度	178° (H) / 178° (V) @ C/R > 10 (標準)
画像強調	SmartImage Lite
フリッカーフリー	あり
表示色	16.7M
垂直リフレッシュレート	56Hz - 76Hz
水平周波数	30kHz - 83kHz
MHL	1080p@ 30Hz (246E7QD/246E7QDA/276E7QD/276E7QDA)
色域	CIE1976-NTSC 101.4%
sRGB	あり
入出力	
信号入力コネクタ	246E7Q/276E7Q: VGA (アナログ)、DVI (デジタル、HDCP) 246E7QD/246E7QDA/276E7QD/276E7QDA: VGA (アナログ)、 DVI (デジタル、HDCP)、MHL-HDMI (デジタル、HDCP)
オーディオイン / アウト	246E7QD/276E7QD: HDMI オーディオアウト 246E7QDA/276E7QDA: PC オーディオイン、イヤホンアウト
入力信号	セパレート同期、緑で同期
便宜	
内蔵スピーカー	3 W x 2 (246E7QDA/276E7QDA)
OSD 言語	英語、ドイツ語、スペイン語、ギリシャ語、フランス語、イタリア語、ハンガリー語、オランダ語、ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、チェコ語、ウクライナ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語
その他	Kensington ロック、VESA マウント (100 x 100mm)
プラグアンドプレイ互換性	DDC/CI、Mac OSX、sRGB、Windows 10/8.1/8/7
スタンド	
チルト	-5° / +20°

246E7

電源			
消費エネルギー	AC入力電圧 100VAC、50Hz	AC入力電圧 115VAC、60Hz	AC入力電圧 230VAC、50Hz
通常操作	26.87 W (標準)	26.97 W (標準)	27.00 W (標準)
スリープ(スタンバイ)	0.5 W (標準) 未満	0.5 W (標準) 未満	0.5 W (標準) 未満
オフ	0.3 W (標準) 未満	0.3 W (標準) 未満	0.3 W (標準) 未満
熱放散*	AC入力電圧 100VAC、50Hz	AC入力電圧 115VAC、60Hz	AC入力電圧 230VAC、50Hz
通常操作	91.71 BTU/時 (標準)	92.05 BTU/時 (標準)	92.15 BTU/時 (標準)
スリープ(スタンバイ)	<1.71 BTU/時 (標準) 未満	<1.71 BTU/時 (標準) 未満	<1.71 BTU/時 (標準) 未満
オフ	<1.02 BTU/時 (標準) 未満	<1.02 BTU/時 (標準) 未満	<1.02 BTU/時 (標準) 未満
電源LEDインジケータ	オン: 白、スタンバイ/スリープモード: 白(点滅)		
電源	外部、100-240VAC、50-60Hz		

276E7

電源			
消費エネルギー	AC入力電圧 100VAC、50Hz	AC入力電圧 115VAC、60Hz	AC入力電圧 230VAC、50Hz
通常操作	32.69 W (標準)	32.79 W (標準)	32.89 W (標準)
スリープ(スタンバイ)	0.5 W (標準) 未満	0.5 W (標準) 未満	0.5 W (標準) 未満
オフ	0.3 W (標準) 未満	0.3 W (標準) 未満	0.3 W (標準) 未満
熱放散*	AC入力電圧 100VAC、50Hz	AC入力電圧 115VAC、60Hz	AC入力電圧 230VAC、50Hz
通常操作	111.57 BTU/時 (標準)	111.91 BTU/時 (標準)	112.25 BTU/時 (標準)
スリープ(スタンバイ)	<1.71 BTU/時 (標準) 未満	<1.71 BTU/時 (標準) 未満	<1.71 BTU/時 (標準) 未満
オフ	<1.02 BTU/時 (標準) 未満	<1.02 BTU/時 (標準) 未満	<1.02 BTU/時 (標準) 未満
電源LEDインジケータ	オン: 白、スタンバイ/スリープモード: 白(点滅)		
電源	外部、100-240VAC、50-60Hz		

寸法

製品(スタンド付き) (幅 × 高さ × 奥行き)	539 × 419 × 179 mm (246E7) 616 × 468 × 179 mm (276E7)
製品(スタンドなし) (幅 × 高さ × 奥行き)	539 × 324 × 45 mm (246E7) 616 × 370 × 52 mm (276E7)
梱包サイズ(梱包付き) (幅 × 高さ × 奥行き)	102 × 490 × 581 mm (246E7 WW) 115 × 497 × 595 mm (246E7 CN/JP) 113 × 544 × 676 mm (276E7)

重量	
製品 (スタンド付き)	3.18 kg (246E7) 4.33 kg (276E7)
製品 (スタンドなし)	2.61 kg (246E7) 4.08 kg (276E7)
製品 (梱包付き)	5.13 Kg (246E7) 6.81 Kg (276E7)
環境条件	
温度 (操作時)	0°C ~ 40°C
相対湿度 (操作時)	20% ~ 80%
気圧 (操作時)	700 ~ 1060 hPa
温度範囲 (非操作時)	-20°C ~ 60°C
相対湿度 (非操作時)	10% ~ 90%
気圧 (非操作時)	500 ~ 1060 hPa
環境	
ROHS	あり
梱包	100% リサイクル可能
特定物質	100% PVC BFR を含まない筐体
適合規格	
規制認可	CE Mark, FCC Class B, CU-EAC, TCO Certified, ISO9241-307, VCCI CLASS B, RCM, CCC, CECP, KCC, BSMI (246E7QD/276E7QD)
キャビネット	
色	ブラック / ホワイト / シルバー / ゴールド / レッド / ローズ ゴールド
仕上げ	光沢

● 注

- このデータは事前の通知なしに変更することがあります。パンフレットの最新バージョンをダウンロードするには、www.philips.com/support にアクセスしてください。
- CIE 1931-NTSC 85%、sRGB: 122.7%

4.1 解像度とプリセットモード

1 最大解像度

1920x1080@60Hz (アナログ入力)

1920x1080@60Hz (デジタル入力)

2 推奨解像度

1920x1080@60Hz (デジタル入力)

水平周波数 (kHz)	解像度	垂直周波数 (Hz)
31.47	720x400	70.09
31.47	640x480	59.94
35.00	640x480	66.67
37.86	640x480	72.81
37.50	640x480	75.00
37.88	800x600	60.32
46.88	800x600	75.00
48.36	1024x768	60.00
60.02	1024x768	75.03
63.89	1280x1024	60.02
79.98	1280x1024	75.03
55.94	1440x900	59.89
70.64	1440x900	74.98
65.29	1680x1050	59.95
67.50	1920x1080	60.00

注

ディスプレイは1920x1080@60Hzの解像度で最高の画像を表示します。最高の表示品質を得るには、この解像度推奨に従ってください。

5. 電源管理

PC に VESA DPM 準拠のディスプレイカードを取り付けているか、またはソフトウェアをインストールしている場合、モニタは使用していないときにその消費電力を自動的に抑えることができます。キーボード、マウスまたはその他の入力デバイスからの入力が発出されると、モニタは自動的に「呼び起こされます」。次の表には、この自動省電力機能の電力消費と信号が示されています。

246E7:

電源管理の定義					
VESA モード	ビデオ	水平 同期	垂直 同期	使用電力	LED 色
アク ティブ	オン	あり	あり	26.97 W (標準) 35.64 W (最大)	白
スリープ	Off (オフ)	なし	なし	0.5 W (標準)	白(点滅)
スイッチ オフ	Off (オフ)	-	-	0.3 W (標準)	Off(オフ)

276E7:

電源管理の定義					
VESA モード	ビデオ	水平 同期	垂直 同期	使用電力	LED 色
アク ティブ	オン	あり	あり	32.79 W (標準) 41.37 W (最大)	白
スリープ	Off (オフ)	なし	なし	0.5 W (標準)	白(点滅)
スイッチ オフ	Off (オフ)	-	-	0.3 W (標準)	Off(オフ)

次のセットアップは、このモニタの消費電力を測定するために使用されます。

- ・ ネーティブ解像度: 1920x1080
- ・ コントラスト: 50%
- ・ 輝度: 100%
- ・ 色温度: 6500k (完全な白パターンの場合)

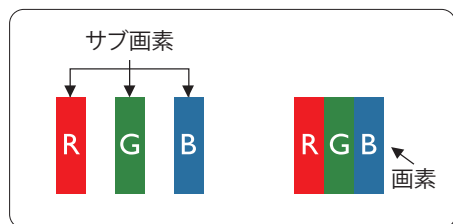
注

このデータは事前の通知なしに変更することがあります。

6. カスタマサポートと保証

6.1 Philipsのフラットパネルモニタ 画素欠陥ポリシー

Philips は最高品質の製品を提供するために懸命に努力しています。当社は、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を使用しています。しかしながら、フラットパネルモニタで使用される TFT モニタパネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、欠陥があるモニタを修理または交換することを保証します。この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、それぞれの種類について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証期間中の修理または交換の資格を取得するには、TFT モニタパネルの画素欠陥数がこれらの受け入れられるレベルを超えている必要があります。例えば、モニタのサブ画素の 0.0004% を超えただけで欠陥となります。さらに、Philips は特定の種類または組み合わせの画素欠陥については、他社より顕著に高い品質基準を設けています。このポリシーは全世界で有効です。



画素とサブ画素

画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の 3 つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3 つの色の付いたサブ画素が 1 つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3 つの色の付いたサブ画素は

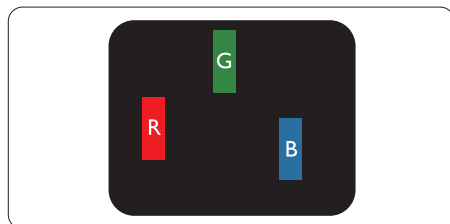
1 つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の 1 つの画素として表示されます。

画素欠陥の種類

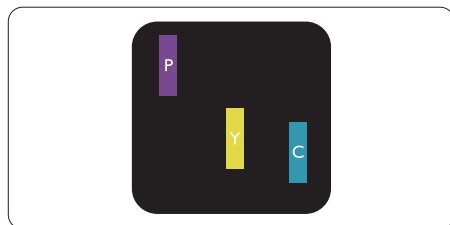
画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には 2 つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、明るいドットはモニタが暗いパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、明るいドット欠陥の種類を紹介します。

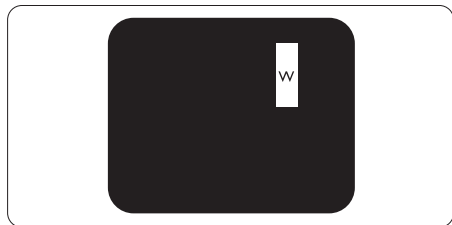


1 つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。



2 つの隣接する点灯サブ画素：

- 赤 + 青 = 紫
- 赤 + 緑 = 黄
- 緑 + 青 = 青緑(ライトブルー)



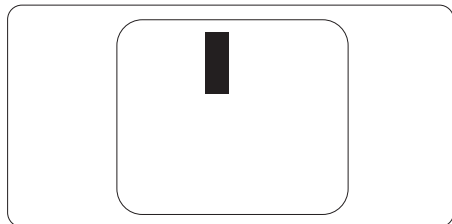
3つの隣接する点灯サブ画素（1つの白い画素）。

注

緑の明るいドットが近接したドットより30パーセント以上明るい場合、赤または青の明るいドットは近接するドットより50パーセント以上明るくなっている必要があります。

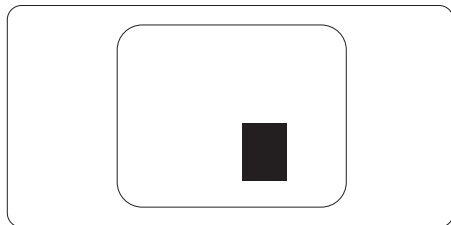
黒いドット欠陥

黒いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、暗いドットはモニタが明るいパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、黒いドット欠陥の種類を紹介します。



画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとても目立つため、Philips では画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。



画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips フラットパネルモニタの TFT モニタパネルに、次の表に一覧された許容範囲を超えた画素またはサブ画素欠陥がある必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	3
2つの隣接する点灯サブ画素	1
3つの隣接する点灯サブ画素 (1つの白い画素)	0
2つの明るいドット欠陥の間の距離 *	>15mm
すべての種類の明るいドット欠陥の総数	3
黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	5つ以下
2つの隣接する暗いサブ画素	2つ以下
3つの隣接する暗いサブ画素	0
2つの黒いドット欠陥の間の距離 *	>15mm
すべての種類の黒いドット欠陥の総数	5つ以下
ドット欠陥の総数	受け入れられるレベル
すべての種類の明るいまたは黒いドット欠陥の総数	5つ以下

注

1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥。

6.2 カスタマサポートと保証

お客様の地域で有効な保証範囲の情報と追加サポート要件の詳細については、www.philips.com/support Web サイトにアクセスしてください。以下に一覧した最寄りの Philips カスタマケアセンターの番号にお問い合わせになることもできます。

注

1. フィリップスのウェブサイトのサポートページに掲載されている地域サービスホットラインの重要な情報マニュアルを参照してください。
2. スペア部品は、最初の購入日から最低3年間、または製造終了後1年間のどちらか長い方で、製品の修理に使用できます。

7. トラブルシューティング & FAQ

7.1 トラブルシューティング

このページでは、ユーザーにより修正できる問題を扱っています。これらのソリューションを試みても問題が解決されない場合、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

1 よくある問題

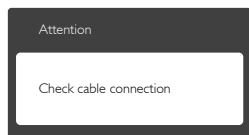
写真が表示されない（電源 LED が点灯しない）

- 電源コードがコンセントとモニタ背面に差し込まれていることを確認してください。
- まず、モニタ前面の電源ボタンがオフ位置にあることを確認してから、オン位置まで押します。

写真が表示されない（電源 LED が白くなっている）

- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。
- 信号ケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。
- モニタケーブルのコネクタ側に曲がったピンがないことを確認してください。曲がったピンがあれば、ケーブルを修理するか交換してください。
- 省エネ機能がアクティブになっている可能性があります。

画面に次のようなメッセージが表示される



- モニタケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。（また、クイックスタートガイドも参照してください）。

- モニタケーブルに曲がったピンがないか確認してください。
- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。

自動ボタンが機能しない

- 自動機能はVGAアナログモードでのみ適用可能です。結果が満足のゆくものでない場合、OSDメニューを通して手動調整を行うことができます。

注

自動機能は、DVIデジタル信号モードでは必要ないため適用されません。

煙やスパークの明らかな兆候がある

- いかなるトラブルシューティング手順の行わないでください
- 安全のため、直ちに主電源からモニタの接続を切ってください
- 直ちに、Philipsカスタマサポートに連絡してください。

2 画像の問題

画像が中央に表示されない

- OSDメインコントロールで「自動」機能を使用して、画像位置を調整してください。
- OSDメインコントロールでセットアップのフェーズ/クロックを使用して、画像位置を調整してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

画像が画面で揺れる

- 信号ケーブルがグラフィックスボードやPCにしっかり、適切に接続されていることを確認してください。

垂直フリッカが表示される



- OSDメインコントロールで「自動」機能を使用して、画像を調整してください。

- ・ OSDメインコントロールでセットアップのフェーズ/クロックを使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

水平フリッカーが表示される



- ・ OSDメインコントロールで「自動」機能を使用して、画像を調整してください。
- ・ OSDメインコントロールでセットアップのフェーズ/クロックを使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

画像がぼやけたり、不明瞭に、または暗く見える

- ・ オンスクリーンディスプレイでコントラストと輝度を調整してください。

電源がオフになった後でも、「後イメージ」、「焼き付き」または「ゴースト像」が残る。

- ・ 長時間静止画像を表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。
- ・ モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
- ・ LCDモニタで変化しない静止コンテンツを表示する場合には、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。
- ・ スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

画像が歪んで表示される。テキストが不鮮明である、またはぼやけて見える。

- ・ PCのディスプレイ解像度をモニタの推奨される画面のネイティブ解像度と同じモードに設定してください。

緑、赤、青、暗い、白いドットが画面に表示される

- ・ ドットが消えずに残るのは今日の技術で使用する液晶の通常の特性です。詳細については、画素ポリシーを参照してください。

* 「電源オン」ライトが強すぎて、邪魔になる

- ・ OSDのメインコントロールの電源LEDセットアップを使用して、「電源オン」ライトを調整できます。

更なる支援については、重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照して、Philips カスタマーサービス担当者に連絡してください。

* 機能は、ディスプレイにより異なります。

7.2 一般FAQ

Q1: モニタを取り付けるとき、画面に「このビデオモードを表示できません」というメッセージが表示された場合、どうすればいいのですか？

A: このモニタの推奨される解像度：1920x1080@60Hz.

- すべてのケーブルを抜き、PCを以前使用していたモニタに接続します。
- Windowsのスタートメニューで、設定/コントロールパネルを選択します。コントロールパネルウィンドウで、画面アイコンを選択します。画面のコントロールパネル内部で、「設定」タブを選択します。設定タブの下、「デスクトップ領域」とラベルされたボックスで、スライダを1920x1080画素に動かします。
- 「詳細プロパティ」を開き、リフレッシュレートを60Hzに設定し、OKをクリックします。
- コンピュータを再起動し、2と3の手順を繰り返してPCが1920x1080@60Hzに設定されていることを確認します。
- コンピュータを停止し、古いモニタを取り外し、Philips LCDモニタを再接続します。
- モニタの電源をオンにしてから、PCの電源をオンにします。

Q2: LCD モニタの推奨されるリフレッシュレートは何ですか？

A: LCDモニタの推奨されるリフレッシュレートは60Hzです。画面が乱れた場合、75Hzまで設定して乱れが消えることを確認できます。

Q3: ユーザーマニュアルの .inf と .icm ファイルは何のためのものですか？ドライバ(.inf と .icm) はどのようにインストールできますか？

A: これらは、モニタ用のドライバファイルです。ユーザーマニュアルの指示に従って、ドライバをインストールしてください。モニタを初めてインストールするとき、モニタドライバ(.inf

と.icmファイル)またはドライバディスクを求められます。

Q4: 解像度はどのように調整すればいいのですか？

A: ビデオカード/グラフィックドライバとモニタは使用可能な解像度を一緒に決定します。Windows®コントロールパネルの下「画面のプロパティ」で希望の解像度を選択できます。

Q5: OSD を通してモニタを調整しているときに忘れた場合、どうなりますか？

A: OKボタンを押してから、「リセット」を押してオリジナルの工場出荷時設定をすべてリコールします。

Q6: LCD 画面はきつかり傷への耐性がありますか？

A: 一般に、パネル面に過度の衝撃を与えず、鋭いまたは先の尖った物体から保護するようにお勧めします。モニタを取り扱っているとき、パネルの表面に圧力や力がかかっていないことを確認してください。保証条件に影響が及ぶ可能性があります。

Q7: LCD 表面はどのようにして洗浄すればいいのですか？

A: 通常洗浄の場合、きれいで、柔らかい布を使用してください。洗浄する場合、イソプロピルアルコールを使用してください。エチルアルコール、エタノール、アセトン、ヘキサンなどの溶剤を使用しないでください。

Q8: モニタの色設定を変更できますか？

A: はい、次の手順のように、OSDコントロールを通して色設定を変更できます。

- 「OK」を押してOSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューを表示します
- 「下矢印」を押してオプション「色」を選択し、「OK」を押して色設定に入ります。以下のように、3つの設定があります。

1. 色温度 : 6500K レンジに設定すると、パネルは " 暖かな、赤-白カラートーン " で表示され、9300K で

は「クールな、青-白トーン」で表示されます。

2. sRGB: これは、標準設定で、異なるデバイス（例えば、デジタルカメラ、モニタ、プリンタ、スキャナなど）間で色が正しく変換されていることを確認します
3. ユーザー定義: ユーザーは、赤、緑、青を調整することで、お好みの色設定を選択することができます。

注

加熱されている間、物体によって放射された光の色の測定。この測定は、絶対温度目盛り（ケルビン度）によって表されます。2004Kなど低いケルビン温度は赤で、9300Kなどの高い温度は青です。中間温度は白で、6504Kです。

Q9: LCD モニタを PCワークステーション、Mac に接続できますか？

A: はい、できます。すべてのPhilips LCDモニタは、標準のPC、Mac、ワークステーションに完全に対応しています。Macシステムにモニタを接続するには、ケーブルアダプタが必要です。詳細については、Philips 販売店にお尋ねください。

Q10: Philips LCD モニタはプラグアンドプレイ対応ですか？

A: はい。モニタは、Windows 10/8.1/8/7、Mac OSXとプラグアンドプレイ互換です。

Q11: LCD パネルの画像固着、または画像焼き付き、後イメージ、ゴースト像とは何ですか？

A: 長時間静止画像を表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。モニタの前を離れるときは、常にス

クリーンセーバーをオンにしてください。

LCDモニタで変化しない静止コンテンツを表示する場合には、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。

警告

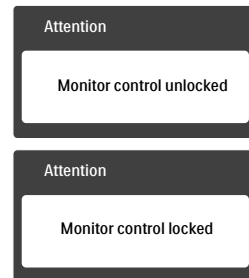
ひどい「焼き付き」または「後イメージ」または「ゴースト像」症状は消えずに残り、修理できません。これらに起因する故障は保証には含まれません。

Q12: 私のディスプレイがシャープなテキストを表示せず、ぎざぎざのある文字を表示するのはなぜですか？

A: ご使用のLCDモニタは1920 x 1080 @ 60Hzのネイティブ解像度で最も良好に動作します。もっとも望ましい画像を表示するには、この解像度を使用してください。

Q13: ホットキーをロック解除 / ロックする方法は？

A: /OK を10秒間押してホットキーをロック解除/ロックします。これにより、モニタには「注意」のメッセージが現れ、下図のようにロック解除/ロックのステータスを表示します。

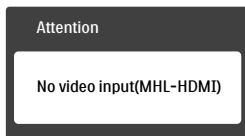


7.3 MHL FAQ

Q1: モニタ画面にモバイルデバイスの画像が表示されません

A:

- ・ モバイルデバイスがMHL認定をうけているか、確認してください。
- ・ MHL認定ケーブルを使用して、デバイスに接続する必要もあります。
- ・ MHL-HDMIポートに接続しており、入力セレクト (前面ベゼルまたはOSD) を通してモニタで正しい入力を選択されていることを確認してください。
- ・ 製品は公式にMHL認定をうけています。このモニタはパッシブディスプレイであるため、MHL入力を使用しているときに予期せぬトラブルが発生したら、モバイルデバイスのユーザーマニュアルを参照するか、モバイルデバイスのメーカーにお問い合わせください。



- ・ お使いのモバイルデバイスがスタンバイ (スリープ) モードに入っていないことを確認してください。スタンバイモードに入っている場合、ディスプレイに通知メッセージが表示されます。モバイルデバイスが呼び起こされたら、モニタのディスプレイが呼び起こされ画像が表示されます。その間に、他のデバイスを使用したり接続していた場合、正しい入力を選択されていることを確認する必要があります。

Q2: モニタディスプレイに、粗い画像が表示されるのはなぜですか？ モバイルデバイスの方がずっとくっきりした画像を表示します。

A:

- ・ MHL基準は、入出力に対して固定した1080p@30Hzを定義しています。このモニタは、この基準に準拠しています。

- ・ 画像品質は、オリジナルコンテンツの品質に依存します。コンテンツは高解像度である場合 (例えば、HDまたは1080p)、このモニタディスプレイにHDまたは1080pで表示されます。オリジナルのコンテンツが低解像度である場合 (例えば、QVGA)、モバイルデバイスでは画面サイズが小さいため画像がよく見えることがあります。大画面のモニタディスプレイでは低い画像品質になります。

Q3: モニタディスプレイから音声が聞こえません。

A:

- ・ モニタディスプレイにスピーカーが組み込まれモニタ側とモバイルデバイス側で音量がオンになっていることを確認します。オプションのヘッドフォンを使用する必要もあります。
- ・ モニタディスプレイにスピーカーが組み込まれていない場合、オプションのヘッドフォンをモニタの出力に接続できます。モニタ側、およびモバイルデバイス側で音量がオンになっていることを確認してください。

詳細または FAQ については、MHL の公式 Web サイト :

<http://www.mhlconsortium.org> にアクセスしてください。



© 2016 Koninklijke Philips N.V. 無断複製および転載を禁じます。

本製品はTop Victory Investments Ltd.またはその関連企業により製造され、市場に届けられたか、Top Victory Investments Ltd. またはその関連企業に代わって製造され、市場に届けられたものです。Top Victory Investments Ltd.は、本製品に関して保証人となります。PhilipsとPhilipsの紋章はKoninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンス契約の下で使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン: M72*6E1T